

ひと、つどう、ふれあう。



12の多角化した事業で、地域の様々なニーズに対応した各種サービスを提供。

- 本社所在地：〒981-3201宮城県仙台市泉区泉ヶ丘3-19-5
- 事業概要：函館から東京までのエリアで地域のお客様のご自宅に上がるような訪問サービスから来店サービスまで12の事業を提供。
- 常時使用する従業員：728名（2025年4月時点）（グループ合計）
- 現在の売上高：80.2億円（2024年3月、5月、7月期グループ合計）
- 法人番号：2370001022707
- Web：https://www.aobaya.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長 高橋 亙

お客様の“毎日の暮らし”のお役に立ちたい

アオバヤは1956年に創業し、10年後に「ダスキン事業」を開始して、東北を中心に拠点展開してきました。その後多角的に事業を展開し、ポストイングや葬祭業、療育事業など地域の役立ちになれる12事業を運営しています。営業エリアは仙台だけではなく、岩手、福島、郡山、函館、東京、千葉、新潟など、東日本に多店舗展開をしつつ、各地域のニーズに応じて成長してきました。来年創業70年を迎えますが、100周年を迎える前に売上100億を超えて、0歳から100歳までの地域住民に寄り添ったサービスを展開し、永続的に地域社会に貢献できる体制を整え、人財育成に取り組んでいきます。

売上高100億円実現の目標と課題

目標

「2029年までに売上100億達成を目指す。」

- ・メール便事業・福祉事業の拡充と新本社建設による事業間の連携により、売上の拡大と顧客との関係性深耕を行っていく。
- ・年率1.12以上の成長率を見込んでおり、2029年度には10,267百万円に到達する計画を組んでいる。

課題

- 外的要因**
 - ・地域の高齢化進行、それによる孤立化、交流機会と場の減少
 - ・他社の定年引上げ、シニア層の活用による働き手の不足
 - ・宅配・訪問型ビジネスモデルの変革の必要性
- 内的要因**
 - ・既存の12事業の相互連携とそれを担う人材の育成
 - ・アナログとデジタルを連携・融合することによる、事業プロセスの効率化
 - ・多事業・多拠点運営による運営システムの複雑化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段・・・量から質へ

既存事業を基盤として、新分野の事業領域を拡大する。メール便事業は、ポストイング事業の人的ネットワークを活用し、社会貢献性の高い事業分野となる。地域企業の新たな選択肢として事業成長が期待できる。また、福祉・健康分野のサービスを深耕し、居住型高齢者福祉施設など今後増加する高齢者へのサービスの幅を広げ、より快適に健康的な生活をサポートする領域を拡大する。点在している事業所を地域ごとに集約することで、社員の交流と人材の有機的活用を行い、12事業の相乗効果を高めていく。

実施体制

- ・メール便事業をポストイング事業から独立し、新たな事業分野としてビジネスモデルを構築する。
- ・福祉、健康ビジネスの強化に向けて「福祉事業本部」を開設し、新たな柱となる事業領域とする。
- ・本社を移転し、機能を集中して事業間シナジーを発揮できる場をつくる。
- ・コンタクトセンター機能とデジタル技術を連携させ、既存顧客との関係性強化と新規顧客開拓を実現し、事業間のシナジー効果を最大化する取組みつくる。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と目指すVISION

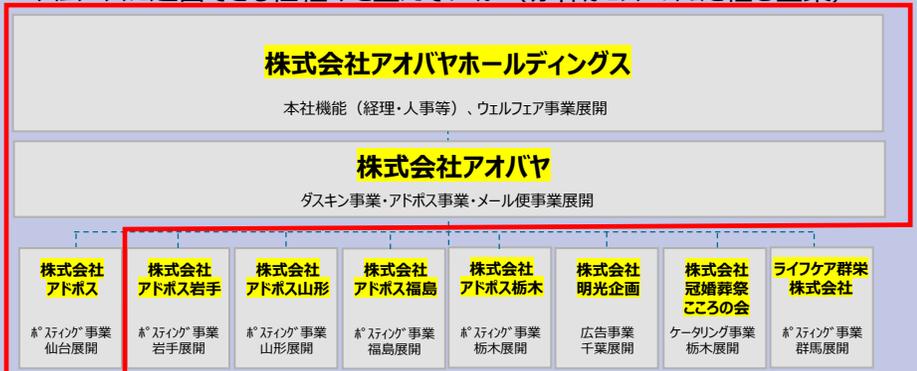
1. 5か年における売上目標

今後5か年は売上100億達成に向けて、全体で168%の成長を目指していく。
(百万円)



2. 補助事業を展開するためのコンソーシアム

グループ連結決算では、2024年5月期で61.0億円の売上である。中核をなすダスキン事業とホステイング事業、そして今後の注力していくメール便事業・福祉事業がスムーズに運営できる仕組みを整えていく。(赤枠がコンソーシアムを組む企業)

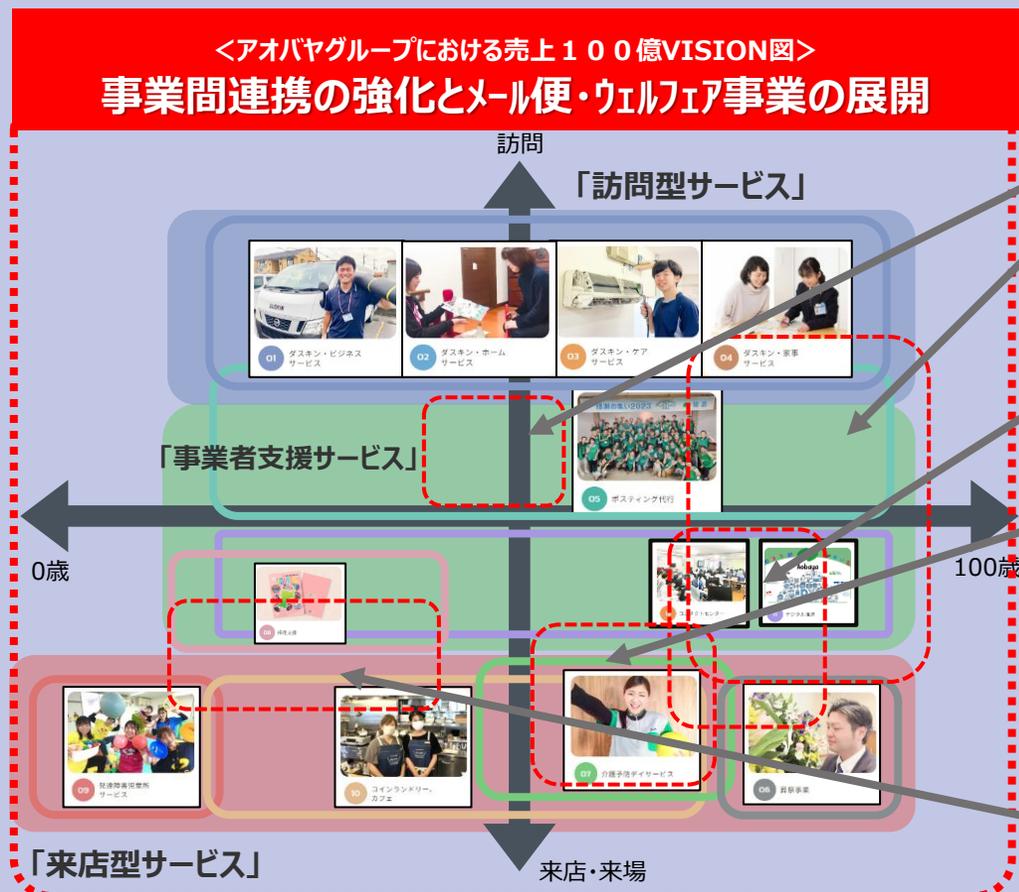


3. 売上100億を達成するためのアオバヤの方向性

地域に住む0歳～100歳までの日常生活にお役立ちできる生活総合支援サービスの展開

事業カテゴリー

- (1) 「お届けする」お掃除用品、チラシ・DM、地域情報誌
- (2) 「代行する」お掃除・家事、ご葬儀、イベント
- (3) 「元気にする」介護、児童支援、在宅勤務者



- メール便事業の展開**
ホステイングの派生事業としてメール便事業を立ち上げ、収益源の柱にする。
- サービス付き高齢者向け住宅展開**
居住型事業はサービスの次の支援レベルの利用者のニーズに応える事業
- 通所系介護福祉サービスの拡充**
他カテゴリーのサービスを展開することで利用者の選択の自由を広げていく。
- フィットネス事業の新設**
健康促進の一環としてサービスを展開する前の年代に対して展開していく。
- 新本社の建設**
各事業所を集約し、事業間の連携を強化し、シ너지効果を生んでいく。
- 就労支援事業の展開**
社会貢献のための事業としてホステイング・メール便での作業の提供を行う。